

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	阿賀なかよし園			
○保護者評価実施期間	2024年9月17日		～	2024年10月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2024年10月28日		～	2024年11月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	正社員3名とパート職員3名の計6名で運用し、利用児童10名に対し、常に職員5名(日によっては4名)が配置されている。	子供たちの宿題等の取り組みに関し、学習室で3台の机を使用し、職員1名(状況により2名)で3人を指導し、メインルームでも2名の職員で見守り、指導を行っている。プレイルームでは、子供たちの遊びを職員1名が見守っている。	対応に手のかかる子は特定の職員に任せる傾向があるので、総員が当たれるようローテーションを行っている。
2	子供の活動スペースとして、メインルーム、学習室、プレイルームと分かれており、さらに、幅2m強、長さ1.5mの廊下では縄跳び、コマ回し、ゴム飛び等身体を使って遊べるスペースがある。	学習面で、個々の興味、関心の違いに対応しつつ、工作、手芸、塗り絵等を通して、目と指先の運動を高めるため機能訓練を実施している。 異年齢、異学年の児童が集まることから、子供たちに楽しんでもらうよう、毎回様々な遊びを企画し、コミュニケーション能力を高めようとしている。	個の活動プログラムをもっと充実、補完させ、学年の課題に応じたマニュアルを作成する。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団遊びは、毎週工夫しながら児童の身体全体を使った遊びや、頭を巡らせて活動する遊びを提供しているが、現在一人の職員が中心として行っていることから、マンネリ化してくる恐れがある。	能力等の関係で、1人に任せているため。	正社員として経験者を募集している。 それまでの間、総員で協力する体制を取っている。
2			
3			